

(計画名)	福井・坂井区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	福 井 県
(地域の課題)	<p>北陸新幹線および中部縦貫自動車道の早期建設等の高速交通体系の整備 産学官連携の強化、先端的なものづくり技術の開発、付加価値の高い新製品の開発・販売への支援・強化、農林水産業の活性化等 社会的に助けが必要な人たちに光が当たる「一人ひとりの命が輝く福祉」の実現、災害に強い県土づくり、有事やテロに対する対策の強化等</p>
(計画の概要)	<p>(1) 総合的な交通体系の整備 <u>北陸と首都圏および近畿圏を結び、地域を活性化させる重要な社会基盤である北陸新幹線については、平成16年の政府・与党申合せに基づき所要の事業を進めるとともに、早期の全線整備に向けた取組みを推進する。</u> 高規格幹線道路である近畿自動車道敦賀線(舞鶴若狭自動車道)および中部縦貫自動車道については、<u>本区域と近畿圏、中部圏との交流促進や災害時の代替迂回ルート機能を有する極めて重要な路線であり、早期整備を図る。</u> 地域高規格道路である福井港丸岡インター連絡道路等を整備していくとともに、国道8号等本区域と隣接県を結ぶ広域連携に欠かせない路線について整備を促進する。</p> <p>(2) ものづくり、新産業の創出による産業の活性化 新産業の創出に向けて、<u>繊維などの地場産業で有している比較優位技術や原子力関連技術など5技術分野の技術開発を推進し、分散型発電・携帯エネルギーなど新たな4市場分野の産業クラスターを形成し、「最先端技術のメッカ」の実現を目指す。</u></p> <p>(3) 「一人ひとりの命が輝く福祉」の実現、災害に強い県土づくり、有事やテロに対する対策の強化等 基幹病院となる福井県立病院の再整備を進めるとともに、<u>本県の優れたがん診断・治療技術を活かすため、陽子線がん治療施設を新たに整備する。</u> 平成16年7月福井豪雨で被災した足羽川については、平成20年度までに集中的に河川激甚災害対策特別緊急事業により再度災害防止を図る。 <u>国民保護法に基づく実動訓練で得られた成果を福井県国民保護計画に反映し、実効性あるものにする</u>とともに、隣接する府県との連携を強化し、<u>県域を越えた避難や救援活動など広域的な体制を整備する。</u></p>